

「私の喜びを奪うのは誰だ！」

主任牧師：重田 稔仁

<メッセージ>

朝の電車で喜びに満ちている人を探すのが、難しいように教会の中で喜びに満ちているクリスチャンを見つけるのは難しいと言われたらどう思いますか。

確かに、いや、そんなことばない…いろいろ意見がありますが。

パウロは、キリストを信じて、キリストの眼差しに生きる全ての信者に対して喜びなさい！と命じています。

「主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。」

フィリピの信徒への手紙 4:4 新共同訳

キリスト者の喜びとは？

それは隷属的な罪の支配から救われた人が体験する解放感です！

例えて言うなら、エジプトから自由にされたイスラエルの人々の歓喜のような！

出エジプト 15:1~2

「モーセとイスラエルの民は主を賛美してこの歌をうたった。 主に向かってわたしは歌おう。 主は大いなる威光を現し 馬と乗り手を海に投げ込まれた。 主はわたしの力、わたしの歌 主はわたしの救いとなってくださった。 この方こそわたしの神。わたしは彼をたたえる。 わたしの父の神、わたしは彼をあがめる。」

出エジプト記 15:1-2 新共同訳

あるいは、バビロンから解放されたイスラエル感激のような！

エズラ 3:8~13

「エルサレムの神殿に帰った翌年の第二の月に、シェアルティエルの子ゼルバベルとヨツアダクの子イエシュアは彼らの他の兄弟たち、祭司とレビ人、および捕らわれの地からエルサレムに帰って来たすべての人と共に仕事に取りかかり、二十歳以上のレビ人を主の神殿の工事の指揮に当たらせた。 イエシュアもその子らと兄弟たち、カドミエルとその子ら、ホダウヤの子らと一緒にあって、神殿の工事に携わる者を指揮することとなった。ヘナダドの子ら、およびその子らと兄弟たち、レビ人も同様であった。 建築作業に取りかかった者たちが神殿の基礎を据えると、祭服を身に着け、ラツパを持った祭司と、シンバルを持ったアサフの子らであるレビ人が立って、イスラエルの王ダビデの定めに従って主を賛美した。 彼

らも「主は恵み深く、イスラエルに対する慈しみはとこしえに」と唱和して、主を賛美し、感謝した。主の神殿の基礎が据えられたので、民も皆、主を賛美し大きな叫び声をあげた。」

エズラ記 3:8-11 新共同訳

出エジプト記とエズラ記が証しする、神の救いはの救いの喜びは、人がその自由意志と尊厳を回復させられた感動です。

イエス様は、この喜びは、何ものにも奪われないと約束しました！

マタイによる福音書 5章 10-12 節

義のために迫害される人々は、幸いである、／天の国はその人たちのものである。わたしのためにののしられ、迫害され、身に覚えのないことであらゆる悪口を浴びせられるとき、あなたがたは幸いである。

喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。」

イエス様が約束し、パウロが喜びなさい！と命じているにも関わらず、私たちの普段のクリスチャン生活に喜びが薄いのは何故？

何が、誰がキリストにある私たちの喜びを奪っているのか。

それは私、私自身がキリストにある喜びを奪っている！と使徒パウロは明言しています！

「わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行っている。もし、わたしが望まないことをしているとすれば、それをしているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。」

ローマの信徒への手紙 7:19-20 新共同訳

パウロは何を言っているのか、

それは、イエス様の福音を信じて罪の支配から解放され死から命に移されたと確信していたパウロでさえ、以前として自分が望まない悪を犯していると告白しているのです！すなわち、自らの手で自身のキリストにある喜びを手放している。

キリストにあって罪に死んだ者なのに、何故、私たちは、悪を犯し続けるのでしょうか。

何故、自分でキリストにある喜びを投げ捨ててしまうのか。

その理由は、

十字架につけられて死から蘇ったキリストのいのちに生きるということが具体的にどういうことか、わかっていないから。

パウロはこのことについて、次のように証ししています！

「わたしは、キリストと共に十字架につけられています。 生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。」

ガラテヤの信徒への手紙 2:19-20 新共同訳

パウロの信仰告白を要約すると

罪の奴隷であった私はキリストと共に十字架につけられて死んだ。だから私は生きていない、キリストが私を生かしている！

キリストが私を生かしている！

私ではなく、キリストが私のうちにあって生きている！

キリストが私を生かしている！

パウロはこの信仰に生きるものは喜びを失うことのない、だから喜びなさいと命じているのです。私が生きているのではない、キリストが私のうちに生きて、私を生かしてください。皆さん、この信仰にこの週も生かしていただきましょう。